

子どもの体験格差解消へ 大学・社会福祉法人・オーケストラが連携
文京学院大学 仁愛ホールで、こども音楽食堂「スマイル・コンサート」を初開催
食と音楽を通じて、子どもたちに心身の栄養を届ける体験の場を提供
【開催日:2026年6月27日(土)】

文京学院大学(学長:福井勉)は、2026年6月27日(土)、本郷キャンパス 仁愛ホールにて、社会福祉法人さぼうと21が主催する、こども音楽食堂「スマイル・コンサート」に特別協力します。

近年、家庭環境や経済的背景により、子どもたちが文化・芸術・自然体験に触れる機会に差が生じる「体験格差」が深刻な社会課題となっています。この課題に対し、社会福祉法人さぼうと21、パシフィックフィルハーモニア東京、そして本学の三者が連携した初の試みとして本イベントを開催します。

当日は、社会福祉法人さぼうと21が展開する「こども音楽食堂」プロジェクトの一環として、「日常では後回しになりがちな芸術との触れ合い」に着目。プロのオーケストラによる本格的な生演奏を通じた「文化芸術との出会い(心の栄養)」と、終演後のお菓子のプレゼントによる「安心の食(身体の栄養)」をセットで子どもたちに無償提供します。

本学は教育資産を活かした積極的な参画により、本取り組みを展開していきます。地域の子どもたちへ豊かな感性を育む機会を提供するとともに、持続可能な開発目標(SDGs)の目標4「質の高い教育をみんなに」、目標10「人や国の不平等をなくそう」の達成を目指します。

本取り組みの背景

■「こども音楽食堂」とは(なぜ食と音楽のセットなのか)

「こども音楽食堂」は、社会福祉法人さぼうと21が30年以上にわたり行ってきた、難民や外国ルーツの子どもたちへの支援活動を背景に立ち上げられたプロジェクトです。同法人では「安心できる食事」と「心を育む生演奏」を組み合わせることで、子どもたちの心身両面を支える継続的な支援を目指しています。

なお、本事業は株式会社シルバーボックス・プリンシパル代表取締役の日野洋一氏を発起人として、同法人が2026年度より始動した新たな取り組みで、パシフィックフィルハーモニア東京との協働体制のもとで運営されています。

■本学が積極的に参画する意義

本学では、パシフィックフィルハーモニア東京と2024年に連携協定を締結し、音楽を通じた文化芸術振興とウェルビーイングの推進に取り組んできました。これまでも、文京学院大学女子中学校の音楽授業における弦楽四重奏の出張授業や、文京学院大学、文京幼稚園での園児向けコンサート開催など、子どもたちが質の高い音楽に触れる機会づくりを創出しています。

こども音楽食堂「スマイル・コンサート」開催概要

- 日 時:2026年6月27日(土)14:00開演(13:00開場)
- 会 場:文京学院大学 仁愛ホール(東京都文京区向丘1-19-1)
東京メトロ南北線「東大前」駅より徒歩1分
- 主 催:社会福祉法人さぼうと21
- 特別協賛:株式会社シルバーボックス・プリンシパル
- 特別協力:文京学院大学
- 入場定員:500名 ※定員に達し次第、募集締切となる場合があります。
- 参加費:無料
- 対象者:4歳以上入場可。
- URL:以下のURLよりお申込みください。
<https://teket.jp/18369/70252>
- 内 容:①本格オーケストラ演奏・楽器紹介
②楽団員から子どもたちへ「食」のおみやげ配布(終演後)

■演奏予定曲:

- ・グリーグ:ペールギュント 第一組曲(物語り付き)
- ・エルガー:威風堂々 第一番
- ・モーツァルト:ディヴェルティメント K.136
- ・久石譲:となりのトトロメドレー ほか



■オーケストラ:パシフィックフィルハーモニア東京

1990年設立。定期演奏会をはじめとする自主公演を軸に、音楽鑑賞教室、オペラ、バレエ、レコーディング、放送出演など、多岐にわたる演奏を展開する。ポピュラー音楽、映画・アニメ、ゲーム音楽のコンサートにも積極的に取り組み、多彩なジャンルのアーティストと共演の場を広げている。2018年からは楽団誕生の地である練馬区で「練馬定期演奏会」を開始。2022年、飯森範親の音楽監督就任とともに、楽団名を「パシフィックフィルハーモニア東京」へ改称。子どもたちに音楽を届ける取り組みを大切な活動指針とし、多数の奏者が呼吸を合わせ一つの響きを創り上げるオーケストラならではの調和の姿を伝えることを命題に、地域や教育の現場に寄り添い、日々の演奏を地道に積み重ねている。



■指揮:河合尚市



東京芸術大学卒業後、これまでに、劇団四季(ミュージカル『オペラ座の怪人』日本初演、ミュージカル『ウエストサイド物語』)、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団等と共演。また、日本屈指のバレエ指揮者として松山バレエ団、谷桃子バレエ団等、日本を代表するバレエカンパニーの公演を指揮。ジュニアオーケストラ浜松音楽監督を務めるなど青少年の育成にも尽力。2005年～2020年、尚美学園大学教授として後進の指導にあたった。

現在、浜松 Open Art エグゼクティブ音楽プロデューサー、戸田市文化芸術推進審議会委員、尚美学園大学名誉教授。

第4回「浜松ゆかりの芸術家顕彰」受賞。令和7年度下総皖一音楽賞(音楽文化貢献部門)受賞。

■司会:琴波真香



大阪芸術大学舞台芸術学科ミュージカルコース卒業。幼少期よりダンス、ボイストレーニング、演劇を幅広く学び、卒業後に上京。ミュージカル『ズボン船長』や『フラガール』への出演をはじめ、下北沢の小劇場からライブ活動まで、ジャンルを問わず精力的に表現の場を広げる。現在は、子ども向けイベントや商業施設のコンサート等でMC・司会としても活動。会場全体をパッと華やかに彩る明るいキャラクターには定評があり、多方面から信頼を寄せられている。